

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が90%以上。	・本校教育目標を理解し、誇りと自覚を持てるような教育活動を実践し、生徒の愛校心を育む取組を推進する。					
		② 学校行事や生徒会行事等を通してクラスの和が高まったと感じている生徒が90%以上。	・学年を超えた生徒交流の場を増やし、LHR活動等を工夫して生徒の和を高めるようにする。					
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③ 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施することで、学習に対する達成感・満足感を持つ生徒が80%以上。	・コースや類型の特性を踏まえ、少人数指導、習熟度別指導等、生徒のニーズに応えた多面的な指導を行う。					
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	④ 授業以外での1日あたりの平均学習時間が2時間以上である。	・学習時間調査の結果を有効活用し、低学年からの進路意識の向上が図れるよう指導を行う。また、スタディサプリ等のICT機器を活用し、個別最適化な学びを充実させる。					
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑤ 職員会議等で生徒に関する情報交換を月に1～2度行う。	・学年会議や分掌会議等で定期的に生徒の情報交換・共有を行い、重要な情報等については職員会議で全職員の共通理解を図る。					
		⑥ 学級担任等による個人面談が効果的と考えている生徒が80%以上。	・継続的に二者面談等を行い、生徒の実態把握に努め、一人一人の特性に合わせた指導や支援を行う。					
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑦ いじめ発生防止と早期発見に努め、発生した場合のいじめ解消率が100%。	・アンケート調査や二者面談を通じて防止や早期発見に努め、いじめを絶対に許さない意識と態度を育てる。					
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑧ 自らあいさつができる生徒が90%以上。	・日頃からあいさつを励行するとともに、教職員自ら率先してあいさつを行い、指導に結びつける。					
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑨ 学校または学年単位の進路に関する指導が効果的と感じている生徒が80%以上である。	・進路指導年間計画に基づき、進路部と各学年が連携して、3年間を見通した系統的、段階的な指導を展開する。					
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑩ 大学などの進路情報を積極的に収集しようとしている生徒が80%以上。	・大学が行う模擬授業の活用やオープンスクールをヒントに自らの適性から進路選択を促す。					
		⑪ 「総合的な探究の時間」を通じ、研究テーマに関する興味関心が一層高まったと答える生徒が80%以上である。	・「総合的な探究の時間」年間計画に基づき、課題設定、情報収集、探究活動等に主体的、協働的に取り組ませることを通して、生徒自身がキャリアプランを策定する能力を向上させる。					
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑫ PTA総会、公開授業、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が70%以上。	・生徒を通じた配布物に加えて、ホームページや一斉メール等で、各行事の日程や内容等について周知を図り参加を促す。					
		⑬ ホームページ上の情報や一斉メールの連絡に満足している生徒・保護者が80%以上。	・情報発信と内容充実により、生徒、保護者、地域に本校教育活動の実態を知らせる。					
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑭ 学校全体のICT教育活動に満足している生徒が80%以上。	・ICT機器を活用し、「分かる授業」の実現を図るとともに、ICT機器の学習活動での活用実績を蓄積して、教職員間での共有を図る。					
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑮ ICTを使うことによって、効率よく仕事ができている教師が80%以上。	・会議資料、アンケート回答・意見集約、欠席・遅刻連絡などデジタル化を推進し、事務作業時間削減及び業務効率化を目指す。					